

# けんこう静岡

第156号

令和6年  
(2024年)  
1月1日(月)

季刊 1部50円 年200円  
(送料税込)

発行所  
公益財団法人 静岡県予防医学協会  
https://www.shsa.net/

(静岡事務所) 〒421-1292 静岡市葵区建徳1-3-43 (054) 278-7716  
(藤枝健診センター) 〒426-0053 藤枝市善左衛門2-11-5 (054) 636-6461  
(総合健診センター) 〒426-8638 藤枝市善左衛門2-19-8 (054) 636-6460  
(沼津事務所) 〒410-0011 沼津市岡宮1210-1 (055) 921-1934  
(浜松健診センター) 〒435-0006 浜松市中央区下石田町951 (053) 422-7800

印刷 池田屋印刷株式会社



## 新年を迎えて

公益財団法人 静岡県予防医学協会

理事長 横田 通夫

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、新年を清々しくお迎えのこととお慶び申し上げます。

年の始めに当たり、国、県、市町や医師会、学校をはじめとする関係各位の皆様のご指導とご協力に心から感謝申し上げます。また、県民の皆様に一層信頼される組織となりますよう職員一同、誠心誠意をもって取り組む所存です。

昨年、令和5(2023)年を振り返りますと、新型コロナウイルスの流行は丸3年を迎えました。依然として感染拡大の波が繰り返され、一昨年末から昨年の年明けに第8波が猛威を奮っていたのは記憶に新しいところです。しかし、世界的にも感染の収束の兆しが見え始め、国は昨年5月に感染症分類を2類から5類に見直し、普通の生活への復帰を目指し大きく舵を切ったところです。世界保健機関(WHO)では、5月に「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」の終了宣言が出され、「ウイズコロナ」時代へと移行してまいりました。

しかし、私たちは普通の生活に戻りつつある中でも、第9波といえるコロナ感染症患者の増加やインフルエンザの感染拡大の同時進行など、3年を超えるパンデミックという未曾有の事態を経験しております。

このような中でこそ、私たち協会は、県東部・中部・西部に五つの事業所を有する総合健診(検診)機関として、一層、受診者の皆様の多様なニーズにお応えし、健診事業をきめ細かく展開してまいりたいと考えております。

今年4月には、老朽化した静岡事務所を静岡市駿河区丸子新田に新築移転いたします。現在、オープンに向けて開所作業を急いでいるところです。皆様には、交通の利便性の良い、この新しい健康診断施設をどうぞご利用くださるようお願いいたします。

さて、厚生労働省統計によると、2022年の日本人の「平均寿命」は、男性が81.05歳、女性が87.09歳となり、2年連続して前年を下回りました。男女とも新型コロナウイルス感染症による死者の増加が、平均寿命を縮める大きな要因となっています。

また、「健康寿命」は、男性が72.68歳、女性が75.38歳です。世界保健機関(WHO)の2023年版の世界保健統計によると、日本人の健康寿命(2019年)は男女ともに世界第一でわが国は世界に冠たる長寿国となっています。

静岡県は、健康長寿の全国上位に位置する県です。私ども健診機関は、県民の皆様が快適な生活をおくるため、健康寿命の延伸を図り、疾病予防と健康の保持増進をサポートし、その一端を担うことが使命であると考えております。

今後とも、協会の理念「みんなの健康を守る」のもと、より質の高い健診サービスを提供し、お客様満足度の向上の視点に立ち、安全・安心そして快適に受診していただけるよう一層のレベルアップに努めてまいります。

むすびに、本年も変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方のご健康とご多幸を祈念しまして、新春のご挨拶といたします。



## 令和6年 知事年頭挨拶

静岡県知事 川勝 平太

明けましておめでとうございます。

皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、国際情勢の激変が引き起こす物価高騰や、激甚化、頻発化する自然災害など、地球規模で大きな影響がありました。一方で、コロナ後の社会経済活動の正常化へ動き出した中、本県は「東アジア文化都市」に選定され、日本の「文化の顔」、いわば「文化首都」として平和を希求するという理念の下、世界文化遺産登録10周年を迎えた富士山を中心に、日本文化の魅力を国内外に発信してまいりました。この大成功は、県民の皆様のご協力、平和の力に他なりません。改めて敬意を表し心から感謝を申し上げます。

和食がユネスコ無形文化遺産に登録されて10年が経ちました。食の文化は人々を平和にします。国内外からの誘客促進と地域の魅力向上を図るため、観光事業者と食材の生産者、料理人、食の研究者などが連携し、来訪者に感動体験を提供するガストロノミーツーリズムを推進してまいります。さらに、新潟県・長野県・山梨県・静岡県の中央日本四県が県境を越えて一体的に広域周遊を促進する黄金KAIDOプロジェクト、20周年を記念して開催される浜名湖花博2024など、幅広い分野で地域の特色を活かした取り組みを切れ目なく実施してまいります。

将来にわたり持続可能な地域形成を実現するためには、人材確保が不可欠です。多様な暮らし方や働き方への関心が高まり、住まいもその一つの選択肢となっています。市町と連携して豊かな暮らし空間の形成や多様な働き方ができる住空間の整備への支援を行い、更なる移住・定住を促進してまいります。

コロナ禍を契機としたデジタル化の急速な進展、脱炭素社会の構築に向けた取り組み、人口減少社会、都市圏と地方圏の人口の格差といった社会課題をビジネスチャンスと捉え、解決に取り組むスタートアップが現れています。失敗を恐れずチャレンジできる社会風土の醸成に努めるとともに、志のあるスタートアップの夢を本県で実現できる環境の整備に全力で取り組んでまいります。

人は体力が充実すると自信が付き、前向きな気持ちになれます。誰もが生涯にわたりスポーツに親しむことができ、かつ、スポーツと健康・食・医療・観光等を融合させるスポーツの総合産業化を進めてまいります。

県民の皆様のご生命や財産を守るため、自然災害への備えや危機管理は最優先の取り組みです。国や市町、関係機関との連携により、不適切な盛土の通報・監視体制の強化、南海トラフ巨大地震による犠牲者の最小化に向けた自助の再認識や共助の対応力の向上、流域治水の推進による県土強靱化を進めてまいります。

世界クラスの資源・人材群を輩出している本県は、まさに日本を代表する地域です。日本の理想郷が今、形を表しつつあります。東アジア文化都市2023静岡県の成果の一つの契機にして、皆様元気に、そして自信を持って共に素晴らしいふじのくにを創ってまいりましょう。

結びに、今年一年の皆様のご健康と御多幸を心からお祈り申し上げ、年頭の挨拶といたします。

静岡県予防医学協会 新静岡事務所

令和6年4月新築移転オープン!

静岡市駿河区丸子新田へ

「けんこう静岡」は、当協会ホームページから見るができます。

https://www.shsa.net/ または「静岡県予防医学協会」で検索してください。